



委嘱状を交付された小林さん

6月16日 【市長室】

## 小林啓男さんを釜石市情報化統括責任者(CIO)補佐官に委嘱

市は、DXの推進体制を強化するため、専門的な知見を持つ外部人材として、フューチャー(株)の小林啓男(あきお)さんを情報化統括責任者補佐官に委嘱しました。小林さんは、行政事務の効率化やデジタル人材の育成、市民サービスの向上に向け、専門的な立場から助言や支援を行います。市は、デジタル技術を活用した行政運営の高度化を進め、より便利で質の高い行政サービスの実現を目指します。



大槌町長へ支援金を手渡す

6月19日 【大槌町役場】

## 一刻も早い復旧・復興へ 大槌町に支援金を贈呈

4月22日に大槌町で発生した林野火災を受け、市は被災地の復旧・復興を支援するため、市役所窓口などで支援金を募りました。その結果、市民の皆さんから総額15万円のご寄附が寄せられ、市長が市民を代表して大槌町長へ贈呈しました。市では、被災地の一日も早い復旧・復興を願うとともに、引き続き支援を続けてまいります。



受賞報告に来た唐丹町漁協(千葉組合長)、唐丹ムール貝養殖組合の皆さん

6月19日 【市長室】

## 唐丹ムール貝養殖組合水産庁長官賞受賞 販路拡大・生産性改善の取り組みが評価

唐丹ムール貝養殖組合が第31回全国青年・女性漁業者交流大会の流通・消費拡大部門で水産庁長官賞を受賞しました。同組合は唐丹町漁協に所属する3人の漁業者が令和5年に設立し、市内で初めてムール貝の養殖に取り組んでいます。ブランド名を「はーとふるムール」として販売しており、販路拡大や独自の洗浄機導入による生産効率の向上などの取り組みが高く評価されました。

6月30日 【新市庁舎】

## 希望の絵 新庁舎彩る 市民有志が寄附

新市庁舎1階「みんなのホール」に、東日本大震災の復興支援に関わってきた画家阿部恭子さんの絵画「釜石の四季」が寄贈されました。この作品は、市民有志が購入費用の寄付を募り実現したもので、当日は実行委員会の藤井了さんらが出席し絵画の贈呈・除幕式が行われました。式典では、かまいしこども園の園児が虎舞を披露し会場に華を添え、多くの市民や来庁者を迎える「希望の絵画」として、末永く愛されることを願いました。



6月2日 【市長室】

## 民生委員・児童委員に対する 厚生労働大臣表彰伝達式

長年にわたり民生委員・児童委員として活動に精励してきた功績が顕著であると認められた6人に、厚生労働大臣特別表彰状および記念品が伝達されました。

紺野 きぬえさん 柳田 みえこさん  
藤井 やすみち 康路さん 福田 ひろし 博さん  
目時 めとき あつし 篤司さん (故) 和田 あきお 秋穂さん



被表彰者の皆さん

6月7日 【釜石消防庁舎東側駐車場】

## 釜石市消防団が演習 地域の安全安心へ防災意識を高める

消防団員が日頃の訓練の成果を披露する消防演習が行われました。小型ポンプ操法やポンプ車操法、一斉放水などに取り組み、団員一人一人が迅速で確実な動きを披露しました。優秀な団員や部への表彰、新入団員への辞令交付も行われ、防災への決意を新たにしました。また、団員の子どもたちから地域を守る消防団への感謝のメッセージが贈られました。



日ごろの訓練で身につけた技術を披露する団員

6月9日 【松倉橋 北側】

## 大きくなって帰ってきてね ヤマメとイワナの稚魚放流

甲子小4年生約40人が甲子川にヤマメとイワナの稚魚を放流しました。児童たちは体長7～13センチに育ったヤマメとイワナの稚魚計10キロ(約1,000尾)を「いってらっしゃい」「大きくなって帰ってきてね」などと声をかけながら、優しく送り出しました。放流を通して、身近な自然の大切さや命を育むことへの理解を深めるとともに、地域の川を守り育てる活動への関心を高めました。



ヤマメとイワナの稚魚を放流する甲子小の児童

6月14日 【旧小川小学校ホタル水路】

## ホタル舞う里 復活願い 小川川の支流水路で餌のカワニナ放流

ホタルが舞う里の復活を目指し、小川川の支流水路でホタルの幼虫の餌となるカワニナの放流が行われました。参加者は、丁寧に約1,800匹のカワニナを水路へ放ち、豊かな自然環境の再生への思いを込めました。長年続く地道な活動により、ホタルの姿が確認されるなど成果も見られており、地域の自然を未来へつなぐ取り組みが続けられています。



水路にカワニナを放流する子どもたち